

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名 称	栃木市大平勤労青少年ホーム
	所 在 地	栃木市大平町蔵井2000-1
	施設内容	勤労青少年が充実した職業生活と有意な教養を習得出来る様、魅力ある講座の提供と交流を通してグループ活動の機会を提供する施設
指定管理者	名 称	いすゞビルメンテナンス株式会社
	所 在 地	栃木市大平町伯仲2691
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス業 (清掃・設備管理・警備保安管理に関する業務)

(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	アンケート数	100件	120件
	利用案内掲示数	3件	3件
	利用者数の増加	7100名	7529名
	クラブ活動の活性化	1200名	1314名

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	<p>①事業計画書を明文化し職員に配布。運営の基本方針に基づき、業務を行っています。</p> <p>②事業計画に反映し、関連団体や地域自治会等に、施設や物品の無料貸しを出し行いました。平等性確保の為、公募後2週間後に受付開始しました。</p> <p>③講座やイベント終了時アンケートを実施し、利用者の意見を把握し、講座やイベント・施設改善に役立てております。</p> <p>④ホーム内に目安箱を設置し、要望や苦情に迅速に対応し、日報に記録し優先順位を把握し所管課への報告・相談をして解決しました。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<p>・当該施設の管理運営の経験を積んだ職員により、施設運営の基本方針に基づいた業務が行われている。</p> <p>・娯楽談話室等勤労青少年が利用しやすい施設となるような配慮がなされ、また、講座の受け付け等においても平等を確保するよう配慮されている。</p> <p>・利用者増加のためのスポット講座（体験講座）が開催できなかったこともあり、より一層の工夫した取り組みにより、利用者の増加とサービスの向上に努めていただきたい。</p>
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価項目	①	事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者会・イベントの実施			4回	7回	
	ボランティアの参加			20名	20名	
	広報紙への掲載			2回	2回	
	チラシ配布			15箇所	20箇所	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①事業計画に基づき、ホーム年間カレンダー通り開館しました。イベント事業におきましては休日参加いたしました。</p> <p>②広報とちぎへの掲載や市内の公共施設に独自の講座案内チラシを配布し広報活動につとめました。</p> <p>③新規講座開拓に向けて、体験講座を2講座計画しましたが出来ませんでした。</p> <p>④県・市や各種団体との事業への参加協力、他ホームとの交流を図りました。</p>					
施設所管課コメント	<p>・大平勤労青少年ホーム利用者が組織されて、さまざまな事業やボランティア活動により勤労青少年ホーム利用者間の交流や地域住民との交流を支援しており、施設の効用を発揮した取組みをしている。</p> <p>・中学生や高校生の昼間の時間帯の受入れやおおひらっこネットワーク（青少年健全育成団体）の講演会への参加等青少年健全育成にも力を入れている。</p> <p>・就労支援事業や栃木勤労青少年ホームとの交流、さらには婚活事業について積極的な取組みをしていただきたい。</p>					

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価項目	① 指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか						
	② 経費の削減がサービス低下につながっていないか						
	③ 清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか						
	④ 建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか						
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	施設修繕数			2件	3件		
	節電(22年比)			85%以下	79.00%		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①所管課との連絡を密にし、適正な収支手続きを実施しております。</p> <p>②サービス低下につながるような経費削減はしておりません。利用者の意見を踏まえながら、新聞・本・パソコンなどサービスしています。</p> <p>③清掃業務の一部や施設の保守点検を内製化し、経費削減を行っています。</p> <p>④建物、設備、備品の管理については、日々の管理を行っています。ISO1401に従って維持管理や環境への配慮もしています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支手続きについては、適正に処理されている。</li> <li>・施設内の清掃等を内製化するなどの努力により、適切な経費節減が図られている。</li> <li>・今後も引き続き、職員が一丸となって、施設経費の節減に取り組むとともに、利用者増加を図りコスト比率の低減に努めていただきたい。</li> </ul>						

(4) 施設の管理を安定して行う能力						
評価項目	①	管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか				
	②	職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか				
	③	健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか				
	④	財政状況に異常はないか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	適正人員の配置			2名	2名	
	研修会回数			2回	4回	
	社会保険等の適切納付			100%	100%	
	会社の財務状況			100%	100%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>①地域関連団体や企業のパイプ役となる有識者と利用者のパイプ役となる当施設経験者を配置しております。</p> <p>②就労団体の講演会や館長会議に参加し、積極的に施設運営に必要な研修に参加しています。他のホームとの交流研修や民間の講座を体験し充実を図っています。</p> <p>③健康保険、厚生年金保険料及び各種税金について滞納は有りません。</p> <p>④別紙、過去3年間の財務数値に異常はありません。</p>					
施設所管課コメント	<p>・財務状況については、経常収支比率からみて問題なく、主にビルメンテナンス業を営む企業であるため、十分な管理能力があると認められる。</p> <p>・施設内の清掃等行き届いており、さらに整理整頓を行い、施設を有効利用していただきたい。</p> <p>・企業内の職員に対するOJT研修や接遇研修の実施や、業務に関する研修会等への参加により、さらにスキルアップを図っていただきたい。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価項目	① 日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか					
	② 緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか					
	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④ 利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	事故発生件数			0件	0件	
	日常点検の実施			稼働日	稼働日	
	自社社内安全パトロールの実施			1回	1回	
	消防訓練の実施			2回	2回	
	消防設備点検の実施			2回	2回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1	20	I	1
指定管理者コメント	<p>①毎月、安全会議を開催し、社内他地区の災害等を水平展開し安全対策をしています。ホームの安全パトロールの年一回の実施。建屋の安全チェックもしました。</p> <p>②事故、災害、緊急時の対応・対策を整え、緊急連絡網の整備もしてあります。</p> <p>③平成26年度は、10月・3月に行っております。</p> <p>④我社の規定に基づき、個人情報保護の方針及び方法、マニュアルも徹底し適切に対応いたしました。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内の安全対策には配慮されており、また、施設の修繕等、随時実施しており事故防止に取り組んでいる。</li> <li>・敷地内の管理についても、適切に実施されている。</li> <li>・緊急時のマニュアル、緊急連絡網が整備されており、また、個人情報保護のマニュアルも徹底され適切に処理されている。</li> <li>・引き続き、緊急時に対応できる体制を図っていただきたい。</li> </ul>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	20	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	12
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	91	83
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
資産総額	1,336,926	1,535,078	1,690,470
売上高	3,525,143	4,124,645	4,262,964
経常利益	152,709	226,502	217,328
当期利益	93,213	133,343	132,568
経常収支比率	105.0%	106.0%	105.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
経常費用	3,379,983	3,908,094	4,058,391
経常収益	3,532,692	4,134,598	4,275,720
経常収支比率	104.5%	105.8%	105.35%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

直近3カ年経常黒字を維持しており、財政状況に異常ありません。  
大平勤労青少年ホーム指定管理に係る経費の収支状況報告の通り異常ありません。